

## 製品安全データシート

<b>製造者情報</b>	会 社 名	株式会社イコル
	住 所	大阪府大阪市北区西天満 5-14-7-5F
	担 当 部 門	製品開発部
	電 話 番 号	06-6311-7650
	F A X 番 号	06-6311-7651
	緊 急 連 絡 先	同上
	作 成 日	平成 23 年 4 月 1 日
	改 定 日	平成 28 年 3 月 3 日

### 整理番号

製品名 (化学名、商品名) アルコール EA-75

### 【危険有害性の要因】

<GHS 分類結果>	: 引火性液体 区分 2
<b>健康に対する有害性</b>	
急性毒性(経口)	: 区分外
急性毒性(経皮)	: 区分外
急性毒性(吸入:気体)	: 区分外
急性毒性(吸入:蒸気)	: 区分外
急性毒性(吸入:粉塵およびミスト)	: 区分外
皮膚腐食性/刺激性	: 区分外
眼に対する重篤な損傷/目刺激性	: 区分 2
呼吸器感受性	: 区分外
皮膚感受性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分 1
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 区分 1
授乳に対する影響	: 区分外
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 区分 3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 区分 1(肝臓)、区分 2(神経系)
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

### 環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	: 区分外
水生環境有害性(慢性)	: 区分外
<GHS ラベル要素>	:
絵表示またはシンボル	: 炎、感嘆符、健康有害性



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 引火性の高い液体および蒸気 眼刺激 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 呼吸器への刺激のおそれ 眠気やめまいのおそれ 長期にわたる、または、反復ばく露により肝臓の障害 長期にわたる、または、反復ばく露により中枢神経系の障害のおそれ

## 組成・成分情報

化学名	化学式・化学名	法規制番号	CAS No.	国連分類	国連番号
エタノール	C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> OH	2-202	64-175	クラス 3	1170
リンゴ酸	C <sub>4</sub> H <sub>6</sub> O <sub>5</sub>	(2)-1442	6915-15-7	該当せず	該当せず
グリセリン脂肪酸エステル	モノラウリン酸7カグリセリル	7-1145	34406-66-1	未分類	未分類
リンゴ酸 Na	C <sub>4</sub> H <sub>4</sub> Na <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	(2)-1499	138-09-0	該当せず	該当せず
グリセリン	C <sub>3</sub> H <sub>5</sub> (OH) <sub>3</sub>	2-242	56-81-5	該当せず	該当せず
精製水	H <sub>2</sub> O	該当せず	該当せず	該当せず	該当せず

濃度:主成分 エタノール 73.10w/w%

主成分エタノールについて

化学式または構造式:C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>OH

国連分類:クラス 3(引火性液体類)

国連番号:1170

CAS No.:64-17-5

官報公示整理番号:2-202(化審法)

---

 応急措置

- 眼に入った場合 : 豊富な清浄水で15分間以上洗眼し、その後症状に応じて医師の手当てを受ける。
- 吸入した場合 : 患者を直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静にする。症状のひどい場合は直ちに医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄した後、コップ数杯の清水を飲ませて吐かせる等の処置をして直ちに医師の手当てを受けること。

---

 火災時の措置

- 消 火 方 法 : 初期の火災には、大量の水噴霧、又は粉末、炭酸ガス等の消火器による消火を行う。
- 消 火 剤 : 水、粉末、炭酸ガス

---

 漏出時の措置

漏出元を断ち、給油シート等で拡散を防ぎ、速やかに集めて空容器に回収する。  
漏出物の回収完了後、漏洩箇所を換気し洗い流す。

---

 取り扱い及び保管上の注意

- 取 扱 方 法 : 局所排気の良い所で取り扱う。
- 保 管 方 法 : 容器の破損に注意し、屋内の冷暗所に保管する。  
また、消防法上に則った保管数量、保管場所で保管する。尚、指定数量については地方自治体の条例により定められていることがあるため、所轄の消防署で確認する。

暴露防止措置

管 理 濃 度	:	管理濃度なし
管 許 容 濃 度	:	設定されていない
設 備 対 策	:	必要に応じて局所排気施設を設置する。
保 護 具 保 護 眼 鏡	:	状況に応じて着用のこと。
保 護 手 袋	:	状況に応じて着用のこと。
保 護 衣	:	状況に応じて着用のこと。

(主成分エタノール 100%としての参考値)

管 理 濃 度	:	設定されていない
管 許 容 濃 度	:	日本産業衛生学会(2009)該当せず ACGIH(2009) STEL 1,000ppm

物理／化学的性質

外 観	等	:	透明液体～微黄色透明液体
比 重		:	0.880～0.875
ア ル コ ー ル 度 数		:	74.5～76.0 度
pH		:	4.50～5.50
溶 解 性		:	水によく溶ける
臭 気		:	エタノール臭
味		:	エタノールの味およびやや苦味

危険性情報(安定性・反応性) 主成分エタノール 100%としての参考値

融 点	:	-114.5°C
蒸 気 圧	:	5.878kPa(44.1 mm Hg) :20°C
爆 発 限 界	:	下限 3.3 Vol% ～ 上限 19.0 Vol%(空气中)
融 点	:	78.32°C
蒸 気 密 度	:	1.59
溶 解 性	:	水に良く溶ける
引 火 点	:	13°C
発 火 点	:	439°C
安 定 性	:	高温、直射日光、火気をさけること

有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む) 主成分エタノール 100%としての参考値

皮 膚 腐 食 性	:	情報なし
刺 激 性	:	情報なし
感 作 性	:	情報なし
急 性 毒 性	:	ラット(経口) LD <sub>50</sub> : 7,060mg/kg 呼吸器系
亜 急 性 毒 性	:	情報なし
慢 性 毒 性	:	情報なし
が ん 原 性	:	マウス(経口) TDLo:320mg/kg/50週 毒性未評価
変 異 原 性	:	小核 マウス(腹腔):1,240mg/kg・48h
生 殖 毒 性	:	ラット(経口) TDLo:44g/kg、妊娠、7～17 日 発育異常
催 奇 形 性	:	情報なし
そ の 他	:	(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)情報なし

環境影響情報

生 体 毒 性	:	情報なし
残 留 性・分 解 性	:	情報なし
生 体 蓄 積 性	:	情報なし

ノニルフェノール系非イオン界面活性剤を含め、環境庁が内分泌攪乱物質(いわゆる環境ホルモン)と位置付けした指定物質は一切配合していない。

---

廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄物処理業者に処理を依頼する  
 刺激性 : 内容物を水洗いしてから処理する  
 \*取り扱い及び保管上の注意の項を参照のこと

---

輸送上の注意

国際規制  
 国連分類 : クラス 3(引火性液体類)  
 国連番号 : 1170  
 国内規制 : 消防法により、第1類及び第6類との混載禁止  
 \*取り扱い及び保管上の注意の項を参照のこと

---

適用法令

労働安全衛生法 : 危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)。  
 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(政令番号:9-61)  
 化学物質管理促進法 : 該当しない  
 海洋汚染防止法 : 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)  
 船舶安全法 : 引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)  
 航空法 : 引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)  
 毒物及び劇物取締法 : 該当しない  
 消防法 : 第4類引火性液体、アルコール類(法第2条第7項危険物別表第1・第4類)  
 薬事法 : 該当しない  
 食品衛生法 : 第2条食品添加物  
 \*取り扱い及び保管上の注意の項を参照のこと

---

その他(記載内容の問い合わせ先、引用文献等)参考文献

財団法人 醗酵工業会 アルコールハンドブック九版

日本公定書協会:第十五改正日本薬局法

- \* この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
  - \* 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
  - \* 注意事項は通常通りの取り扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合は、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
  - \* すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。
-